

進路指導のたより 第1号

栃木県立富屋特別支援学校 鹿沼分校 進路指導部

日頃より、本校の教育活動に対し、御理解、御協力をいただき、ありがとうございます。

また、6月に行いました進路希望調査では、具体的な進路に関する御意見や疑問等を御記入いただき、ありがとうございました。

◆校内実習◆

6月24日(月)から7月5日(金)までの2週間、中学部では第1回目の校内実習が行われました。「クリーン班」、「空き缶班」の2班に分かれて、終日作業学習を行いました。

中学部校内実習の目的の一つとして、『実習をとおして社会生活に必要な基本的な態度を養う。』があります。基本的な態度とは、衣服の着脱、整理整頓、日課に沿って活動をする、作業を最後までやり通す、健康・安全に注意する、などを指します。この目的を基本として、生徒は個別に目標を立て、2週間取り組みました。特に1年生は初めての校内実習で、エプロンや手袋の着用などの身だしなみから学びました。2週間の実習を通してできたこと、難しかったことを自分自身で受け止め、次のステップにつなげて行きます。

<クリーン班>

クリーン班では、不要になったタオルで布巾や雑巾を作りました。作業に必要な道具の準備から、縫い上げ、報告、完成後の出来高の確認に至るまで集中して取り組みました。午後の作業では分校、西中学校の校舎内の清掃も行いました。

<空き缶班>

アルミ缶をつぶす作業では、つぶすまでの行程を細かく分け、自分の役割に責任をもって作業に取り組みました。つぶしたアルミ缶は愛隣福祉センター様に回収に来ていただきました。

《一例ですが、校内実習の生徒の目標です。》

・仕事内容を正確に覚える。・真面目に作業をする。・体調を整えて、2週間元気に作業をする。・挨拶、報告、返事ができる。・準備や身支度を一人でやる。 などでした。

今の自分に何ができるか、どんなことができるようになりたいか、などを教師と相談しながら目標を立てました。

《実習終了後の保護者の方の感想》

・初めての作業学習でしたが、最後まで頑張りました。
・初めての校内実習、大丈夫かなと心配していましたが、離席することなく作業に取り組めていたので安心しました。
・来年の進学に向けて、集中する時間が伸びたり、先生とのアイコンタクトなどのコミュニケーションがとれるようになってきたりしたことが将来に向けた大きな一歩だと思いました。

保護者の方の励ましや称賛が生徒たちの意欲になります。また、自分で考えて行動し、自分が思い描いた成果を得たときに自己肯定感が生まれます。それらが生徒の力となり、主体的に学び、進路を決定する力につながっていきます。

◆卒業生の進路状況◆

【令和5年度鹿沼分校中学部卒業生の進学先】

●令和5年度鹿沼分校中学部卒業生 4名

栃木特別支援学校高等部・・・1名 今市特別支援学校高等部・・・3名

【令和2年度鹿沼分校中学部卒業生の高等部卒業後の進路状況】

●令和2年度鹿沼分校中学部卒業生 6名

CCV ダック（生活介護）、日向希望の家（生活介護）、A Q U A（B型）、夢の森（生活介護）、ポノイムア（B型）、ステップ（生活介護）、やまびこ荘（生活介護）

◆新しい事業所の案内◆

- ・ウーリー鹿沼「W O O O L Y」就労継続支援 B 型事業所（令和6年7月開所）
- ・鹿沼愛隣福祉センター障害者グループホーム「こかげ」「こもれび」（令和6月1日開所）

進路に関する相談や質問がある場合には、担任を通してお伝えください。連絡帳でお答えしたり、保護者会や進路だより等で情報を提供したりしていきたいと思います。